

## 【調査結果の概要】

令和2年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は143万6,880 tで、前年に比べ7%減少した。

主な加工種類別<sup>(注1)</sup>にみると、ねり製品は47万3,292 t、冷凍食品は22万9,581 t、塩蔵品は15万6,386 t、塩干品は12万775 t、節製品は7万1,801 t、煮干し品は5万2,817 tで、前年に比べそれぞれ5%、8%、8%、10%、9%、4%減少した。

生鮮冷凍水産物の生産量は111万1,074 tで、前年に比べ13%減少した。

図1 食用加工品生産量の主要加工種類別構成割合（全国）

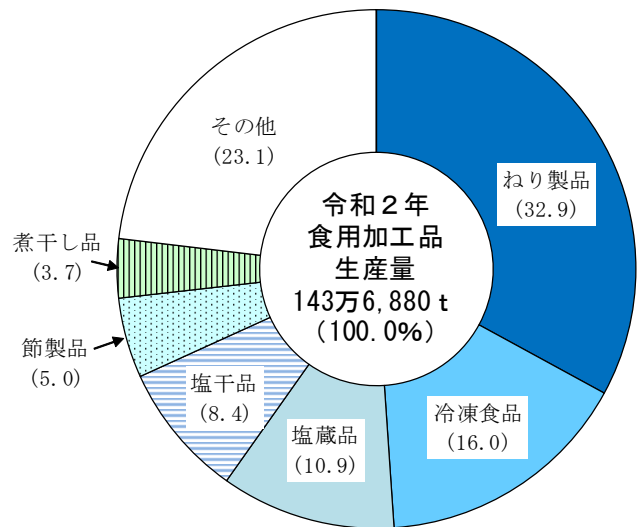


表1 主要加工種類別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区分	単位	令和元年	2	対前年差	対前年比
食用加工品	t	1,538,506	1,436,880	△ 101,626	93%
うちねり製品	〃	499,920	473,292	△ 26,628	95
冷凍食品	〃	250,432	229,581	△ 20,851	92
塩蔵品	〃	169,955	156,386	△ 13,569	92
塩干品	〃	134,784	120,775	△ 14,009	90
節製品	〃	78,643	71,801	△ 6,842	91
煮干し品	〃	55,191	52,817	△ 2,374	96
焼・味付のり	千枚	6,442,555	6,013,442	△ 429,113	93
生鮮冷凍水産物	t	1,281,265	1,111,074	△ 170,191	87

- 注：1 加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。  
 なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
- 2 食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。
- 3 本年調査から主産県調査に変更している（変更内容の詳細は「調査の概要」を参照。）。

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は47万3,292 tで、前年に比べ5%減少した。

品目別にみると、かまぼこ類は41万526 tで、前年に比べ7%減少し、魚肉ハム・ソーセージ類は6万2,766 tで、前年に比べ5%増加した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合 (全国)

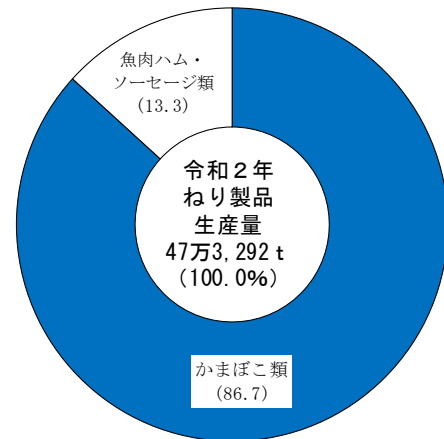


表2 ねり製品の品目別生産量 (全国)

区 分	令和元年	2	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	499,920	473,292	△ 26,628	95
かまぼこ類	440,095	410,526	△ 29,569	93
魚肉ハム・ソーセージ類	59,825	62,766	2,941	105

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は22万9,581 tで、前年に比べ8%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は12万6,538 tで、前年に比べ5%減少し、水産物調理食品は10万3,043 tで、前年に比べ12%減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合 (全国)

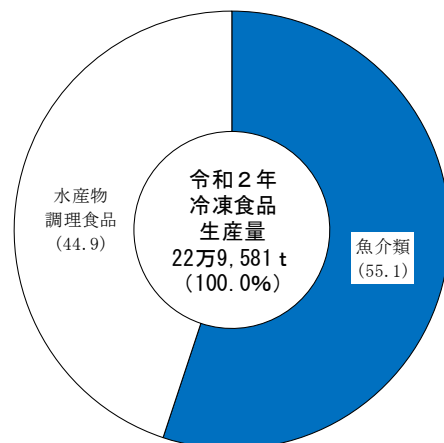
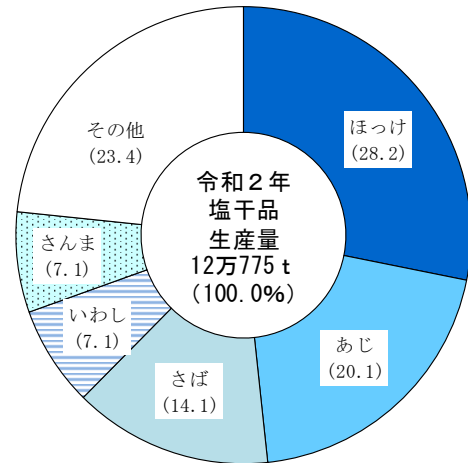


表3 冷凍食品の品目別生産量 (全国)

区 分	令和元年	2	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	250,432	229,581	△ 20,851	92
魚介類	133,146	126,538	△ 6,608	95
水産物調理食品	117,286	103,043	△ 14,243	88

図4 塩干品生産量の主要品目別構成割合  
(全国)



(3) 塩干品

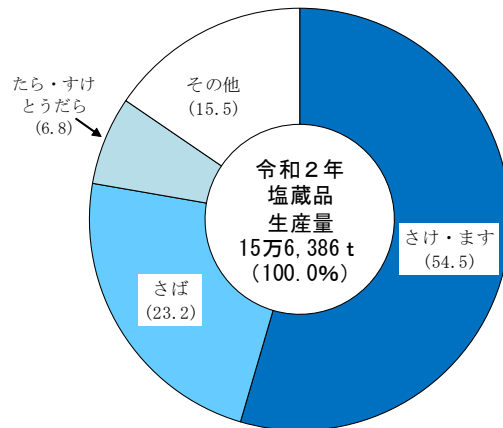
塩干品の生産量は12万775 tで、前年に比べ10%減少した。

主な品目別にみると、ほっけは3万4,006 t、あじは2万4,327 t、さばは1万7,070 t、いわしは8,585 t、さんまは8,573 tで、前年に比べそれぞれ2%、1%、19%、4%、19%減少した。

表4 塩干品の主要品目別生産量 (全国)

区分	令和元年	2	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩干品	134,784	120,775	△ 14,009	90
うち ほっけ	34,611	34,006	△ 605	98
あじ	24,606	24,327	△ 279	99
さば	21,184	17,070	△ 4,114	81
いわし	8,930	8,585	△ 345	96
さんま	10,533	8,573	△ 1,960	81

図5 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合  
(全国)



(4) 塩蔵品

塩蔵品の生産量は15万6,386 tで、前年に比べ8%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは8万5,304 t、さばは3万6,256 t、たら・すけとうだらは1万591 tで、前年に比べそれぞれ5%、1%、16%減少した。

表5 塩蔵品の主要品目別生産量 (全国)

区分	令和元年	2	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩蔵品	169,955	156,386	△ 13,569	92
うち さけ・ます	89,480	85,304	△ 4,176	95
さば	36,600	36,256	△ 344	99
たら・すけとうだら	12,558	10,591	△ 1,967	84

## 2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は111万1,074 tで、前年に比べ13%減少した。

主な品目別にみると、いわし類は38万7,625 tで、前年に比べ1%増加し、まあじ・むろあじ類は3万8,021 tで前年並み、さば類は26万8,078 t、ほたてがいは9万4,122 t、さけ・ます類は6万1,092 tで、前年に比べそれぞれ26%、13%、1%減少した。

図6 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）

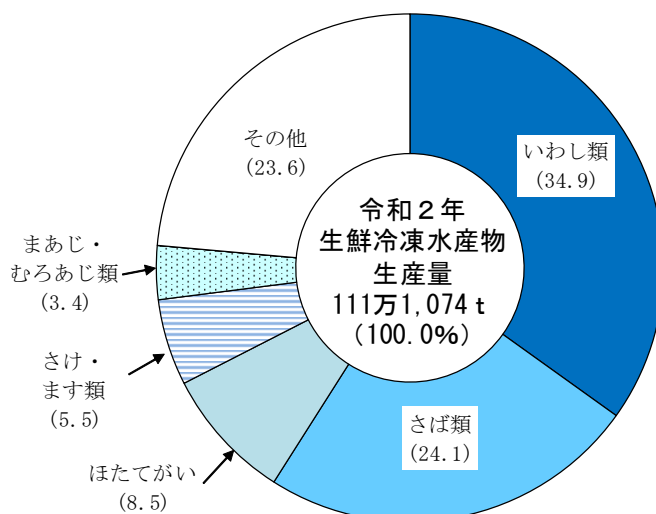


表6 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和元年	2	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生 鮮 冷 凍 水 産 物	1,281,265	1,111,074	△170,191	87
う ち い わ し 類	382,449	387,625	5,176	101
さ ば 類	360,029	268,078	△ 91,951	74
ほ た て が い	108,349	94,122	△ 14,227	87
さ け ・ ま す 類	61,987	61,092	△ 895	99
ま あ じ ・ む ろ あ じ 類	37,932	38,021	89	100